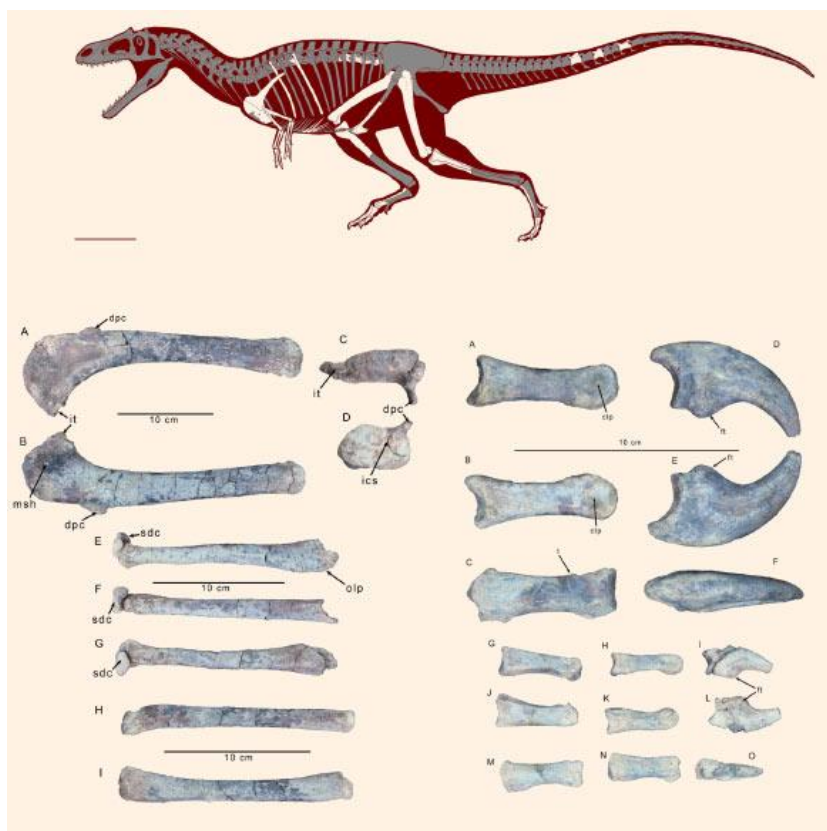


アルゼンチンで発見された新種の肉食恐竜グアリチョ・シンヤエ

パタゴニアの北部に分布する白亜紀後期フインクル層は化石が多産することで有名である。アルゼンチンの古生物学者たちは、この地層から発見された新種の肉食恐竜グアリチョ・シンヤエ(*Gualicho shinyae*)の化石を記載した[1]。この恐竜は二足歩行で、体長は6メートル、体重は450キロと推定された。

この恐竜は前肢が小さい割に2本の長い指の先端に大きな爪をつけていて、ティラノサウルス・レックスに似ている。しかし、この恐竜の分類学的位置づけは、デルタドロメウスと同じくカルカロドントサウルス科に分類された。すなわち、前肢が小さく、二本指が発達しているといったティラノサウルスとの類似性は進化的には関係しておらず、収斂進化の結果であり、異なる分類群で独立に進化した形態であると化石を記載した古生物学者は主張している。



[1] Apesteguia, S. et al. (2016) An unusual new theropod with didactyl manus from Upper Cretaceous of Patagonia, Argentina. PLoS ONE 11 (7): e0157793; doi:10.1371/journal.pone.0157793.